

富山県の交通の様子



交通とは？

「人」や「もの」を運ぶための大切な働きです。

公共交通とは？

交通のうち、「鉄道」や「バス」など、だれでも利用できる乗り物のことをいいます。

駐輪場(速星駅)



優先座席



パークアンドライド駐輪場(越中八尾駅周辺)



世帯あたりの自家用車保有台数

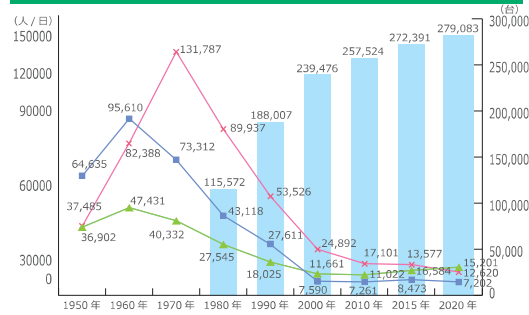
1.7 (台)

1世帯あたり



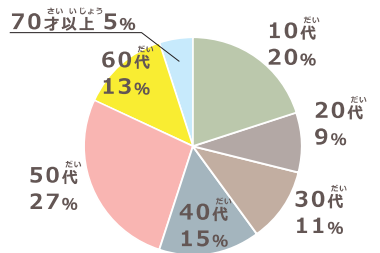
(自動車検査登録情報協会[令和4年3月末現在])

公共交通の利用者数と乗用車保有台数



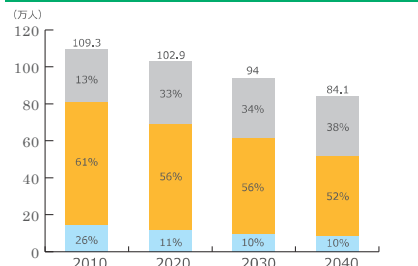
(出典:富山県統計書、富山地方鉄道五十年史)

公共交通(鉄道)を利用する人



※JR高山本線を利用する人(平日)
(出典:H20年度 富山県調査(平日))

富山県の人口推移



(出典:国立社会保障・人口問題研究所)

公共交通と市街地(住宅の多いところ)



R2.3.21~
富山港線は市内電車と接続

- 凡例
- 市街地(住宅の多いところ)
 - 市や郡のさかい
 - 町や村のさかい



今はなくなった笹津線

公共交通の発展に力をつくした人...「佐伯宗義」

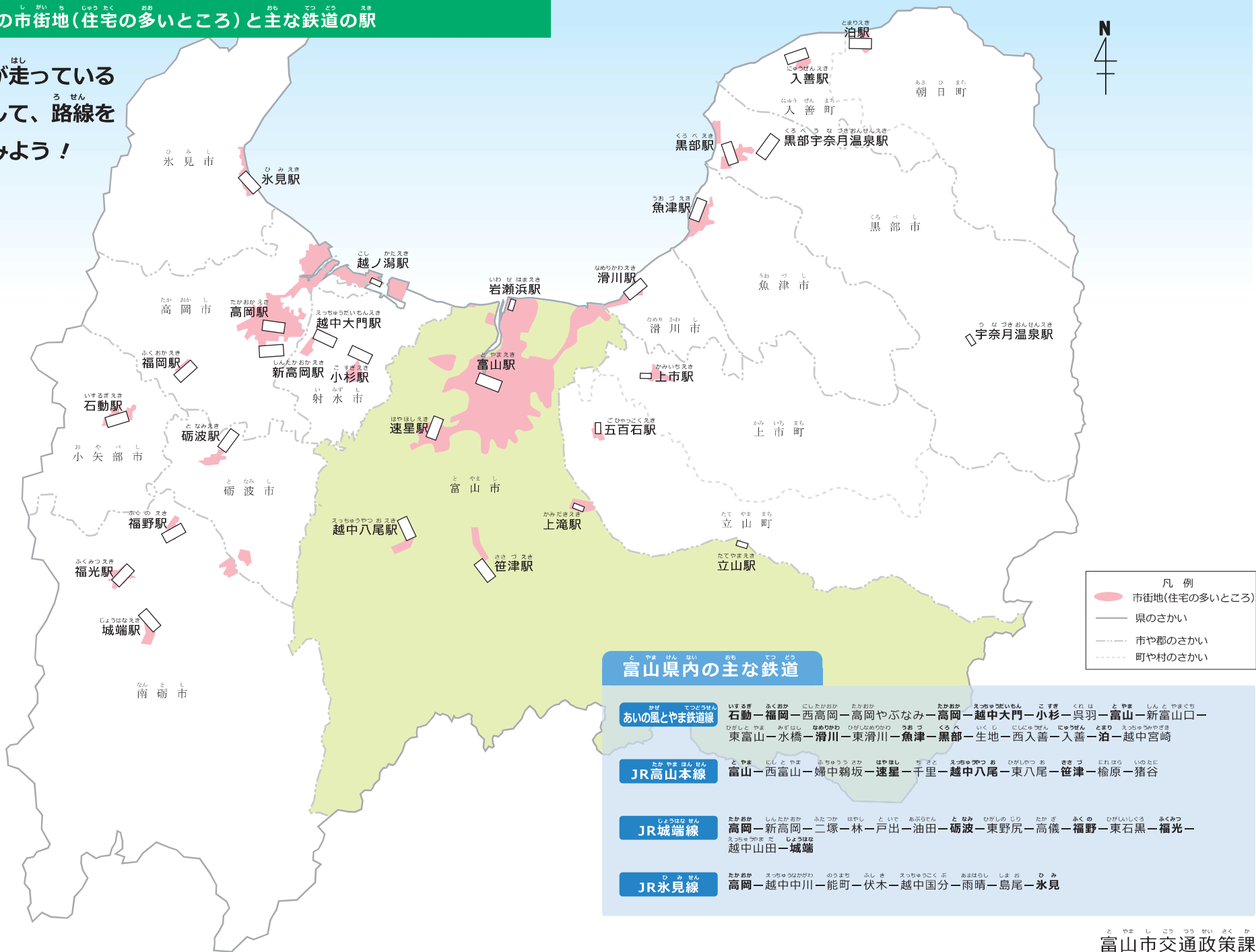


佐伯宗義は、1894年、富山県中新川郡立山町芦峯寺の山里に生まれ育ちました。宗義は子どものころから、「山里に生まれたというだけで仕事も学校も病院にも行けないような不便な生活をしなければならないなんて、不公平だ！」と考えていました。そして、大人になったらふるさとのために役立ちたいという思いをもつようになりました。

大人になった宗義は、「電車やバスなどの交通網が整えば、山里に住む人たちが、町に働きに出られるし、学校や病院にも行ける。人々のくらしをよくするためには、くらしの足が必要だ」と考え、1930年に富山電気鉄道(今の富山地方鉄道)をつくり、交通事業を始めました。そして、富山~滑川、魚津などに鉄道をのびし、バス路線を広げていきました。

↓ 富山県内の市街地(住宅の多いところ)と主な鉄道の駅

鉄道の線路が走っている
場所を予想して、路線を
書き入れてみよう！



富山県内の主な鉄道

- あいの風とやま鉄道線**
 石動—福岡—新高岡—高岡やぶなみ—高岡—越中大門—小杉—呉羽—富山—新富山口—東富山—水橋—滑川—東滑川—魚津—黒部—生地—西入善—入善—泊—越中宮崎
- JR高山本線**
 富山—西富山—婦中鶏坂—速星—千里—越中八尾—東八尾—笹津—楡原—猪谷
- JR城端線**
 高岡—新高岡—二塚—林—戸出—油田—砺波—東野尻—高儀—福野—東石黒—福光—越中山田—城端
- JR氷見線**
 高岡—越中中川—能町—伏木—越中国分—雨晴—島尾—氷見

凡例

- 市街地(住宅の多いところ)
- 県のさかい
- 市や郡のさかい
- 町や村のさかい